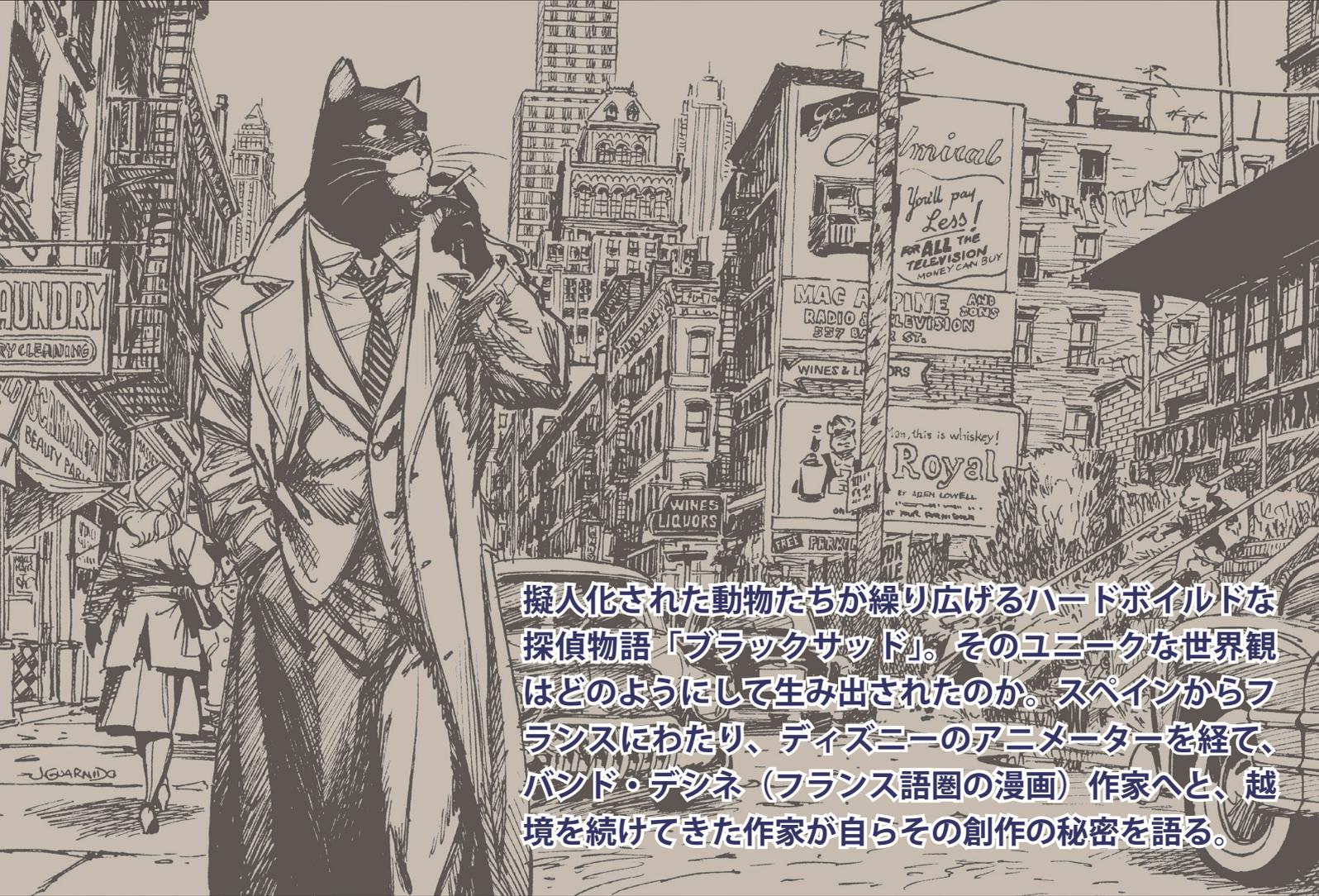


明治大学大学院国際日本学研究所特別講義

黒い猫の履歴書

—スペイン、ディズニー、バンド・デシネ—

講師：フアンホ・ガルニド



擬人化された動物たちが繰り広げるハードボイルドな探偵物語「ブラックサッド」。そのユニークな世界観はどのようにして生み出されたのか。スペインからフランスにわたり、ディズニーのアニメーターを経て、バンド・デシネ（フランス語圏の漫画）作家へと、越境を続けてきた作家が自らその創作の秘密を語る。

『ブラックサッド 黒猫の男』原作：フアン・ディアス・カナレス、作画：フアンホ・ガルニド

2013年10月19日（土）

13:30～15:30

明治大学中野キャンパス

高層棟3階304教室

通訳：大西愛子

予約不要。学部生、学外の方も歓迎です。

フアンホ・ガルニド (Juanjo Guarnido)

1967年、スペイン・グラナダ生まれ。

グラナダの美術学校で学んだ後、マドリッドに移り、アニメーションの制作に関わる。そこで、後に『ブラックサッド』の原作者となるフアン・ディアス・カナレスと出会う。

1993年にフランスに移住し、モントイユのウォルト・ディズニー・アニメーション・フランスでアニメーターとしてスタジオが閉鎖されるまで働く。『ノートルダムの鐘』の背景、『ヘラクレス』のハデスのアニメーション、『ターザン』の豹のサボーとターザンの父の作画などを手掛ける。

2000年にフアン・ディアス・カナレス原作の『ブラックサッド 黒猫の男』を発表。現在第5巻を制作中。

